

ペット葬儀の祭壇(ユニクエスト提供)。人と同じ葬具が一式揃う



根拠もありません」と語る。現在、感応寺では、料金別に三つの葬儀プランを用意している。小型犬や猫体重5kg未満の場合、葬儀にかかる費用は3万〜7万円(火葬料金、お布施含む)。いずれのプランも読経供養があるが、上位プランでは感応寺の祭壇に遺体を安置して告別式を行ったり、初七日供養があったりするなど、施主の希望に柔軟に対応できるようにしている。

「火葬やお経自体はどのプ

ランも変わりありませんので、あとは飼い主さん次第。どこまでやれば納得してお見送りができるかは、人それぞれですから」

感応寺では、葬儀業者と提携して移動火葬車による自宅葬儀も受け付けている。しかし数としては圧倒的に寺内で葬儀をあげる人が多いという。

成田さんは「ペットを失った飼い主さんは金額の安さよりも、心の救いを求めてやってくる」と話す。

「私は毎回『葬儀とは、ペットと、来世での待ち合わせの約束をすることです』と飼い主さんにお話しています。愛するペットとの別れは、家族の死と同様に、つらく苦しいもの。しかし、ずっと悲しみを引きずったまま生きるわけにはいきません。だから葬儀を通じて、来世で再会するための、精神的なつながりを築きましょうとお話しています」

成田さんが話すように、室内飼いで家族同然にペットと接することが多くなってきた。抜くためには「メールで問い合わせるのではなく、事前に会ったり、電話で話したりするのが最も効果的」だという。

「葬儀プランの内容や料金など、どれだけ丁寧に説明してくれるかでホスピタリティの高さが判断できる。ペットが亡くなった直後は冷静な判断ができないので、できれば亡くなる前に複数の業者に問い合わせしておく」と安心です。

最近では、遺骨をペンダントにするなどのオプションサービスもあるので同時に確認しておくとうまいだろう。ただし、ペット葬儀業者の数が急増しているといえ、地域によっては自宅近くに希望にかなう葬儀業者がない場合も考えられる。

近年は、そうした飼い主の悩みを解決するためのサービスも出始めている。大阪府のIT企業で、保育・葬儀事業を運営する株式会社ユニクエストは、19年4月から定額制のペット葬儀サービス「いつもここ

た現在、ペットを人間と同様に手厚く葬りたいと希望する飼い主が増えている。それに応ずる形でペット専門の葬儀業者も全国で急増しているが、一方で葬儀プランや料金体系には統一された規格がなく、どの葬儀業者に頼めば満足する式をあげられるのか、個人では判断しづらいという課題もある。

では、どんなペット葬儀業者を選べば安心なのか。全国のペット葬儀業者の「口コミ検索サイト「ペット葬儀マップ」を運営する、レッドスポット株式会社代表の布川洋平さん(42)に、昨今の業界事情を聞いた。

「ペット葬儀業者は、現在把握しているだけでも全国に千〜1500社ほどあります。その約3割が個人事業でやっている移動火葬車サービスです。ペットの火葬は免許もいりませんが、移動火葬車などはヤフオクで中古車が200万円くらいで売っています。参人が比較的容易なだけに潰れる業

者も多く、入れ替わりの激しい業界ですね」

布川さんが「ペット葬儀マップ」をオープンしたのは14年4月。サイトの公開にあたり自身でも全国の葬儀業者のサービスを調べ尽くしたが、どうすれば質の高い業者をユーザーにつなげられるかが課題だった。

そこで思いついたのが、「口コミ」機能の搭載だ。

「食ベログ」のように、近くの葬儀業者を検索すると同時に、実際にその業者を利用した人の口コミ評価がわかれば、安心してサービスを利用できるのではないかと思っただけです」

以来、サイトの利用者数は緩やかに増え続け、19年6月現在の月間利用者数は4万人に到達。最初は1か月に1件あるかないかだった口コミ件数も、今では毎日5〜6件入るようになり、総口コミ件数は3535件

(19年10月現在)に達した。サイトが注目を浴びるようになった背景には、2年前に起きた「ある事件」も関係しているという。

17年1月、大阪にあったペット霊園「宝塔」が突如閉鎖し、ペットの遺骨を無断で掘り返し、放置するという事件が起きた。

「実は、事件が公になる1週間ほど前から、サイトに『宝塔の担当者と一切連絡が取れなくなった』という口コミが何件も入ったんです。これは妙だと思っただけで、しばらくして全国ニュースに事件が取り上げられてびっくりしました」

このほかにも07年には、飼い主から遺体を引き取った後に20万円以上の高額な請求を突きつけ「払えなければ生焼けのまま返す」と脅すなど、悪質なペット葬儀業者が度々問題視されてきた。

布川さんは「こうしたいくつかの悪徳業者によって、ペット葬儀業界全体に対す

てもいい」と思えるほど質の高いサービスが、まだ全国的に普及していないからではないか」と分析する。

「現状のペット葬儀は移動火葬車による火葬が主流で、お寺で読経供養までしてくれるサービスはまだ少ない。また地域によっては自宅からお寺が遠すぎて、読経供養をしてあげたくてもできないという事情もあります。そのため弊社では、ペット葬儀にも、読経の文化を醸成していくことで、ゆくゆくは全国の飼い主さんが同じように満足のいくサービスを受けられるようにしたいと考えています」

同社では、さまざまな事情からペットの墓に通えない飼い主のために、アプリを使ってお墓参りができるサービスも開発中だという。今後SNSやIoTの技術がより進歩していくことで、飼い主とペットの「死後のつながり方」も、もっと多様な選択ができるようになるのかもしれない。

ライター・澤田 憲

「今の時代、悪い評判はそれこそ口コミやSNSを通じてあつという間に広まりますから。粗雑なサービスをしていたらすぐに潰れてしまいます。料金も似たり寄ったりで、火葬代は小型犬や猫なら2万〜3万円、中・大型犬なら3万〜5万円が相場。もちろん火葬の方法に違いはありません」

布川さんがサイトに集まった口コミを分析したところ、利用者からの評価が特に高いのは、料金が安いところではなく「接客の質が高い業者」だったそうだ。

「飼い主にとってペットの葬儀は一度きりのかけがえないもの。だから葬儀業者のスタッフも流れ作業ではだめ。一回一回を親身に対応する。共感性の高さ」が求められるんです」

逆に飼い主の視点から考えると、質の高い業者を見

ペット葬儀の金額 平均は2万円

定額制ペット葬儀「いつもここ」のサービスは、「返骨プラン」(税抜き6万円)と「納骨プラン」(税抜き7万円、ただし19年10月現在は特別価格で税抜き5万円)の二つだけ。体重15kgまではプラン内に火葬料金も含まれており、体重による料金の変動はない(ただし15kgを超える場合

ろに)を開始した。同社取締役の八田知巳さん(35)は、「全国の寺や霊園を回ってヒアリングする中で、ペット葬儀に対するニーズの高まりを肌身に感じた」と語る。「弊社では『小さなお葬式』という人間の定額制家族葬プランを全国販売しています。同じようにペット葬儀に關しても、必要十分なサービスに絞って料金を抑えたコンパクトな葬儀プランが求められているのではないかと感じました」

「今月には30〜40件ほどのお問い合わせをいただいています。今後提携先を増やして、サービスを提供できるエリアを広げていきたい(八田さん)」

同社のサービスの特長は、どちらのプランにも「読経供養」がついていること。今年5月、ユニクエストが全国20歳以上の男女1201人を対象にアンケート調査を行ったところ、「ペットの葬儀にどれだけお金をかけたいか」という問いに対し「平均6万円」(犬と猫の場合)との結果が出た。一方で「実際にペットの葬儀で支払った金額」を調査したところ、「平均2万円」だったという。